

チョウセンヤマニガナ

Lactuca raddeana Maxim.

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由	本県での生育地は火山性高原の草原に散在しているが、個体数は少ない。草原開発や野焼きの停止、植林などによる環境の変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	耶馬溪地区，玖珠丘陵地・山地，由布・鶴見火山群，大野川上流域
分布域	九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島) 朝鮮半島 中国(東北部) 東亜温帯～亜寒帯
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現 状	生育地の草原が開発されて減少している所が多い。
備 考	大陸系遺存植物。九州は、分布の南限域にあたる。ヤマニガナ(var. <i>elata</i>)と類似し、しばしば混生している。

オオモミジガサ

Miricacalia makineana
(Yatabe) Kitamura

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由	県内の生育地は山地の陰湿地に限られ、しばしば群生することがある。森林伐採や遷移進行による環境変化が懸念される。
県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地，津江山地，九重火山群，祖母・傾山地，北川上流域
分布域	本州 四国 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
生育環境	低山地や山地の溪流辺や湿った谷沿いの林内。
現 状	山地の水気のある湿った林内に小群落をつくって生育している。生育地が谷沿いのため、崩壊して生育状態の衰退した所がある。
備 考	ソハヤキ要素の植物。国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，耶馬日田英彦山，祖母傾]

ツクシカシワバハグマ

Pertya robusta (Maxim.) Beauverd
var. *kiushiana* Kitamura

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由	分布域は極めて狭い。本県の生育地は限定されていて、個体数は少ない。森林伐採や植林などによる環境変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	由布・鶴見火山群，(祖母・傾山地)
分布域	九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
生育環境	丘陵地や低山地の林縁，林内。
現 状	「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	九州の特産種。